

⑪ ^{いさべ}砂部陸橋架替

受賞機関 兵庫県 加古川土木事務所、国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

全建賞審査委員会の評価ポイント

交通事故により主桁のPCケーブルが破断した、国道2号を跨ぐ「砂部陸橋」の架け替え事業。交通量の多いバイパスを跨ぐ跨道橋において、関係機関と密接に連携を図ったこと、架設工法の大幅な見直しを行い、短期間で、かつ渋滞や苦情もほとんど発生せず架設できたことを評価。

1. はじめに

姫路河川国道事務所では、播磨地域における安全で潤いのある豊かな社会作りを実現するとともに、地域の発展・活性化を図るため、道路・河川・海岸の社会資本整備を実施している。そのうち道路事業では、国道2号及び国道29号の改築、維持管理、交通安全施設の整備、風水害・地震・雪害対策等を行っている。

2. 事業の概要

本事業は、平成24年2月、国道2号加古川バイパスを跨ぐ兵庫県道砂部陸橋に大阪方面向きに走行するトラックに積載した油圧ショベルのアーム部分が衝突し、主桁下フランジが損傷（断面欠損、PCケーブル破断）したため、当該陸橋を架け替えたものである。



主桁損傷状況（右からG1桁～G5桁）

3. 事業の成果

西日本を東西に貫く大動脈である国道2号加古川バイパスは、1日約10万台の交通が流れており、少しの交通規制も多大な社会的影響が発生する。そのため架替作

業に伴う夜間通行止め時には、広域迂回路として設定した国道250号の影響がある信号現示の調整（警察）を行った。また夜間の通行止の時間制約として、トラックレーンの据付撤去の移動時間を除くと4時間しか実作業時間がとれないため、既設橋撤去時にブロック化での施工を検討し、その際の転倒対策などの安全対策も万全に行った。

工夫した点

- 撤去工事：前川建設株式会社
解体工法を乾式ワイヤー切断工法を採用することにより、解体工程の大幅な短縮を行った。
- 架設工事：株式会社駒井ハルテック
 - ①送出しは、手延機延長の短縮により、4時間という制約時間の遵守を行った。
 - ②推進力のアップとして自走台車に水平ジャッキを追加し施工時間の短縮を図った。



上部架設状況

4. おわりに

国道2号加古川バイパスの夜間通行止めを実施するに際しては、兵庫県、高速道路交通警察隊、加古川警察との度重なる協議や、地域住民の方々のご理解とご協力の賜と存じます。改めましてお礼を申し上げます。また当時工事に携わっていただいた受注者である前川建設株式会社様、株式会社駒井ハルテック様には厚く御礼を申し上げます。